

第3回日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会 議事録

日 時 平成22年1月27日(水) 10:00～12:00

場 所 石神井区民事務所第一会議室

出席者 品田委員、藤井委員、前田委員、松下委員、富岡委員、石山委員、大村委員
杉浦委員、石川委員、西條委員、菊池委員、乾委員

(傍聴者)9名

(事務局)練馬区環境まちづくり事業本部土木部公園緑地課 3名

(練馬区関係各課)総務部文化国際課長、総務部施設管理課長

区民生活事業本部産業地域振興部商工観光課長

生涯学習部生涯学習課長、生涯学習部スポーツ振興課長

各課職員

(委託事業者)株式会社LAU公共施設研究所 2名

配布資料

資料1 第2回日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画検討委員会要旨

資料2 日本銀行石神井運動場の公園整備にかかる基本計画(案)

資料3 今後のスケジュール(案)

資料4 日本銀行石神井運動場南側区道の現況および整備イメージ

資料5 区立施設・公園における夜間閉園の事例

0. 配布資料の確認

- ・ 第3回委員会資料として、資料1～5の確認を行った。

1. 開会

- ・ 委員長より開会の挨拶

2. 基本計画案について

- ・ 事務局より資料1～5について説明を行った。

3. 討議

委員長	これからこの案に基づいて皆さんからの意見をいただきたい。最初に自由に発言していただき、締めくくりに皆さん全員に順番に発言してほしい。
G委員	<p>2回目の時に開放型という話がでた。その際に大変抵抗があったので、私は入口の増設には反対をした。そこで私は石神井警察の生活安全課や石神井消防署と関係しているの、それぞれから資料をもらったところ、昨年11月に石神井公園内の周辺で110番通報が100件であった。1ヶ月で100件もある。その内容は問わずと知れた、話に出ていた花火の騒音とか、不審火、喧嘩、暴行、不法投棄、中には自殺者まで出たようだ。安心・安全を標榜している区が全面開放と考えることはおかしいという観点から、私も反対をしていた。石神井消防署には5年前からの資料を作成してもらった。幸いな事に、火事の方は小火程度で、1年に1、2件という件数で5年間推移しているようだ。防犯に対しての地域の方々の意見も聴取してみた。「あの塀を取ってしまったらあのグラウンドはめちゃくちゃになっちゃうよ。」という意見や犬の放し飼いをされては困る。芝生とかあるいは植栽とか、せつかく整備をしても犬の放し飼いをしては芝生がだめになり、木々はそれこそどんどんなくなるだろうから、犬の放し飼いは規制したほうがいいという意見もある。2、3回、日本銀行の周辺を私自身も歩いてみた。見ていると南側の通路では自転車が交差するのが大変だ。片方が待っているとか、勢いよくきた若者達と接触したという事例もあったので、確かに今回の資料のセットバックという方法は一番理にかなっている。すぐそばにフェンスがあるという方法よりも、むしろ木々を大事にして、その奥にフェンスがあるという方式である。ちょうど石神井中学校の南に野球場があるが、野球場のフェンスと道路の間にクヌギの葉っぱを都が敷いてくれた。あれは非常に感触がよい。同じセットバックするのなら、すぐそばが塀で通路だったというよりもゆとりがあるように思える。これはよい事なので、委員みんなが納得するのではないか。これはずっと進歩した案だ。私も賛同できる。先ほど発言したように、夜間を閉園している公園もあるので、この対応が一番よいと思う。犬を連れて歩く時には放し飼いにしないという条件をつけることはよいと思う。アカマツについてだが、他所を旅してみるとマツの立ち枯れが非常に多い。石神井公園、三宝寺池付近に関する限り、今のところ立ち枯れしていないようだ。アカマツが非常にある地域で、私達が小さい時分には池の周辺にもっとアカマツがあった。クヌギ林だけでなかった。戦後の何かの事情でだいぶ伐採してしまった。非常に惜しい財産を無くしたと思っているので、是非、アカマツの保全は必要と思う。今日の計画案でほぼよいと思う。ただ、もう一つ希望すれば、花と木立ちの広場とか松林の広場とか、多目的広場にいろいろ動線があるが、南東の位置に入口をつくるのなら、クラブハウスの南にも動線の一つを入れておいたほうがいい。秋の紅葉の際に老人施設に入っている方々を連</p>

	<p>れて、施設の人たちが付き添ってあちこち連れて歩いている。杖にすがって歩いている。散策する人たちのためにも、南側のフェンスの近くに、動線を確保しておいたほうがよい。</p> <p>団体に所属している方々は、自分の所属している団体の事ばかりを考える傾向にある。ある町会の新年会に行ったら、「私はゲートボールをしています。私はグラウンドゴルフをしています。その土地を確保して欲しいです。」という話が出た。ここで計画されたのは多目的広場なので、一つだけの目的だけでなく多目的に使用できるような方策は大変結構な事だ。これからそういう要望が出るかもしれないが、やはり曜日によって使用目的を変えるなどの実施計画や運営方法もあると思う。</p>
委員長	<p>他の委員も率直な意見、質問などを発言してほしい。</p>
副委員長	<p>いくつか気が付いた点がある。まず、非常によく出来ている案である。これまでの委員の話等を聞くと、この一帯は練馬の中では確かにみどりの豊かな場所であるのは間違いないのだが、加えて、ある種の品格のある空間であろう。多くの方が利用していくと、うっかりするとその品位ある空間が崩れることが懸念される。そうなると、みどり豊かで品位ある空間を今後細かく設計を進めていくために、あるイメージを皆で共有しておいたほうがよいのではないか。この後、実施設計を進めていくうえでの具体的なデザイン方針というのか、デザイン指針のようなものを展開していく事にもつながるはずなので、そう意味でこの場所がどういうイメージなのかという事、どういう空間であってほしいという事を共有したほうがよい。それはおそらくみどり豊かで品位ある空間だという事ではないかと思う。</p> <p>次に、先ほどの南側の歩道に沿ったフェンスの扱い方に関わって、既存樹木との関係があったが、この場所の毎木調査のようなものは一方で進めておかないと、この後の設計だとかを進める上で、細かい検討がしきれないのではないか。併せてどうしてもこの部分は樹木にぶつかるということがあった時に、しっかりと樹木の重要性を判断していかないといけないので、毎木調査のデータを考えておかないといけない。</p> <p>動線を含めた施設計画図があるが、駐輪場等を考えるとなおさら富士街道沿いの現在の歩道が少し狭い。安全にこの場所に到達でき、ここから出て行く事を考えると、この街道沿いの敷地際に沿った設計は非常に重要だ。この部分をどうするかが非常に大きなポイントではないか。</p> <p>先ほど発言したデザイン指針のようなものはイメージを共有した上で考えると、管理運営計画の中におそらくデザイン管理というのも必要ではないか。いろいろなベンチだとか施設が入ったとき、言葉がよくないが、雑多になり、イメージがだんだん崩れていく。そうするとゴミ捨てが増えるなどいろいろな事に波及してくる。やはり冒頭に発言した品位ある空間というものを維持するようなデザイン管理が必要なのではないか。</p>

D委員	<p>今までの論議を踏まえて大変うまくまとまっている。細かな点、表現などについて、やや疑問を持つ点があるが、基本計画の段階という事なのでここでは問題にしなくていい。この整備の基本的な問題として、「文化芸術・観光が楽しめる」という表現がよいのか疑問だ。「文化・芸術が楽しめる」というのは対象を言っているのがよいが、観光が楽しめるという表現は不適當である。観光という事自体をどういうふう考えるによるが、まち歩き観光という言葉も本来やや逸脱した俗語だと思う。最近ではネイチャーツーリズムと言うが、ずっと自然と触れ合いながら歩いて行くような散策型のもも観光に含めるならば、まったく異論はない。石神井公園ふるさと文化館の事を考えると、石神井公園の三宝寺池の方につながっていき、連続性あるいは一体性を強調する事になる。これは実施計画の問題でもあるが、この事を実際に活かされるように施設全体の看板の中にも明示すべきだ。看板、施設全体の案内図、標識はこういうことに十分配慮する事を基本計画の中にも入れておいていただきたい。これによって、整備が有効なものになると思う。</p>
F委員	<p>前回よりだいぶ煮詰まっている。町会の役員達と議論したが、例えば野鳥公園から野球場の方に抜ける道は、殿塚・姫塚の脇を通っていくが、やはり今のままでは危ない。もっと広げて道をつくらないといけない。道が狭いまま出入りしたら危険なことを考えてもらいたい。道を広げてから出入口を決めるならばよいが、いきなり出入口を決めたら、事故が起こってしまう。</p> <p>全体的な運営の仕方だが、今、スポーツをする人が主に使っている。よく考えてみると、この練馬には有名な音楽家も結構いる。我々の子どもころ、日比谷公園にいくと軍隊さんが出入りして、野外で演奏していた。屋内だけで音楽はやるものだと決めこまないで、野球場のところに木造でもいいから、ちょっと舞台があれば、通る人も耳を貸してくれる。両方兼ねてやったらどうか。</p>
E委員	<p>私もこの基本計画はこれでよいと思う。ただ、南側の歩道は公園の中の散歩道ではなく生活道であるので、朝夕、自転車でかなりスピードを出して学校、会社に行っている。私もこの間、夜に通ったが、無灯火で飛び出してくる。公園の中の道で広げるのはよいが、出来ればここは自転車だけが通る道で、その他に歩道をつくり、分けてほしい。歩道であればぶつからないし、木があつたらそこをよけられる。この木はこのままでいいが、出来たら歩道と自転車道を分けもらいたい。自転車道はこれだけで十分だと思う。あまり広いと余計スピードを出してしまう。ブレーキをかけてすれ違うという位がちょうどよい。その北側に歩道、その奥にフェンスをつくったらよいのではないか。そうすると南側入口・出口も歩道があると自転車にぶつかるということもない。その辺を配慮してほしい。全体的な構想はずばらしい。運営委員会は出来た後に立ち上げればよいと思う。</p>
H委員	<p>この入口とか駐車場とかはよいと思う。一つだけ、これは明らかにスポー</p>

	<p>ツ公園というイメージだ。せっかく三宝寺池側にこういう入口が出来るわけだから、石神井公園を訪れたより多くの人に入ってきてもらい、見てほしい。その時によかったと思えるようなものが欲しい。3分の2位がスポーツ施設だ。3分の1位が松林の広場、花と木立ちの広場となっているが、おそらくこのような形で出来上がった場合、石神井公園を訪れて、「この公園は何だろう。覗いてみよう」と入ってきた人が「なんだ。何にもないじゃないか」という感想で帰られてしまうのではないか。この中で何かもうひと工夫をして、多くの人に石神井公園に行くと三宝寺池の北側にすばらしいものがあると噂になるくらいの目玉を是非つくってほしい。これは最初の出発だから、そこまで欲張らなくてもよいかもしれないが、将来的にそうなることを望んでいる。</p>
委員長	<p>これから実施計画をつくる段階なので、具体的にイメージがあったら今のうちにどうぞ。</p>
H委員	<p>前にも発言したが、例えばホタルの餌であるカワニナの養殖をする。水を汲み上げて流し、その水はまた三宝寺池に流せばよい。そこに行けばホタルの生育を示しながら、ホタルの一生を展示するなど、人々が見て「そうなんだ」と思えるようなものをつくるのがよいと思う。</p>
B委員	<p>基本計画は大変よくまとめてある。一つあるとすれば柱がほしい。前々から石神井の問題というのはこの柱の問題だろう。かつて岩波区長の時に、石神井地域の発展のため柱をつくるとなると石神井城だろうというような事で石神井城の復元を諮問したことがあった。ただ、近世城郭を建てたいとのことだったが、石神井は非常に地味な中世城郭である。諮問された委員の先生方は確かに練馬に来れば本物の中世城郭が見られるというものも必要ではないかという意見でした。ここでは日本銀行の土地があったり、道場寺もあつたり三宝寺もある。石神井公園ふるさと文化館も出来る。牧野記念庭園もある。格好の材料が揃っている。これを有機的にどう結び付けて行くかというのはこれからの知恵だろう。石神井の中核となる石神井公園ふるさと文化館が出来るので、日本銀行の土地ではやる必要はないと思うが、将来計画はやはり一つ100年の構想というのを持つべきだ。関東大震災の後に豊島園の南の向山で城南住宅の企画をしている。300坪くらいを1住宅として確保するのが人間の居住にはふさわしいという事で、いち早く緑の保全と人間らしい生活の追及をしている。自分が初めてヨーロッパを回った時、やはり100年の住宅をつくるべきで、そういう土地計画をするべきではないかと気づいた。石神井もそうだと思う。与えられた材料の中で、これから時間をかけて、英知を尽くし、全体の構想の青写真も必要ではないか。まず、自然保護、緑の保全ということで大賛成だが、全体をどうするか。その中で有機的にいろいろな施設を結びつけて有効な活用をしていく事を今後考えほしい。</p>
H委員	<p>この基本計画は大変結構だ。</p>

	<p>私たちは練馬総合運動場を管理しているが、多目的広場で行う種目ほとんどやっている。年2回位、利用者の代表者が集まり、使い方なども検討し、話し合いで仲良く利用している。気候のよい時には、わざわざ車でジョギングに見える方、また、夏の夕方涼しくなるとかなり大勢の方がジョギングに使っているの、公園に来る方がそのまま多目的グラウンドでジョギングをして帰るとこともあると思う。近隣の中学生等がやはりトラックを利用して、個人利用で走りにきたりするので、その辺もいろいろ検討したほうがよい。</p>
I 委員	<p>基本計画については、非常に内容的にも素晴らしいものだ。意見の中にスポーツに使う運動広場が全体の中で大きな比重を占めているという指摘もあったが、この場所を使わせてもらえるということが大きな財産と考えている。ただ、今までスポーツをやっていた人間がここでスポーツをやるというだけでなく、練馬も非常に高齢化が進んで、65歳以上の方が多くなっていると思うが、そういう方たちがここに来た時に、見たこともないようなスポーツをやっているの自分もやってみたいと思うようにしてほしい。ニュースポーツが中心になるかもしれないが、常時、運動広場の中で展開できるようなものを考え、それを管理する方法については、運営管理委員会のようなものをつくる。常時、体を楽に使えて楽しいスポーツが出来るし、初めて体験する方にとっても魅力ある場所になると思う。</p>
J 委員	<p>私も非常によくできている計画だと思っている。最初、都立公園との関連性という事でフェンスの問題を取り上げたが、整備イメージを見て、非常にすてきな園路になっていると思った。この部分は、拡幅すると当然自転車もどんどんスピードを出すので、これは基本計画というよりも作り方の問題だが、樹木の間を歩くような形で、歩行者と自転車を分離したほうが、安全性は高まる。また、歩いている方も樹林地の中を歩いている形で、快適な歩行・散策ができるのと思う。出来れば例えば富士街道沿いですとか、西側の方もフェンスで道路と区切られているが、せっかく区立公園になるので、散策できるようにフェンスを1、2mセットバックしておけば樹木の中を歩いているような形になると思う。今後の基本設計のことかもしれませんが、考慮してもらえばこの公園がより親しまれると思う。</p> <p>あと一つとしては、今、基本計画を作成しているが、10年後、20年後どういう公園になっていくかという時に、これだけの空間がある場所なので、例えば区の行事とかに、この多目的広場で行われることになると思う。その時に、クラブハウスが重要な位置を占めてくる。基本計画の中で、音楽・文化の発信というのがあるが、この施設の中だけでなく、公園の中に広がっていくような、例えばクラブハウスの西側に花と木立ちの広場が今後計画されるが、この辺と一体となって文化とか芸術とか出来るような空間をつくっていくことも必要だ。このクラブハウスをどう使っていくのかという事は、目玉という観点においても、有効だと感じる。</p>

K委員	<p>各委員の忌憚のない意見をいただき、基本計画をとりまとめました。先ほど何人かの委員から、牧野記念庭園、それからこの日本銀行のグラウンド、石神井公園、三宝寺、石神井公園ふるさと文化館、石神井公園駅、商店街のようなもう少し広い目でみた石神井という町の性格と品位を持つような事をコンセプトとしてとらえたらどうかと意見があったが、大変参考になった。</p>
委員長	<p>一通り意見を伺ったが、もう少し議論が必要と思う点が何点もあった。全体としての品位というものをもう少し具体的にイメージしなくてはならないのではないか。古き良き余裕のある練馬の雰囲気という感じだろうか。何か意見があったら伺いたい。</p>
G委員	<p>名称のことだが、当初の委員会の資料では仮称石神井北公園になっていた。随分芸のない、思いの全然伝わらない名称のつけ方だ。夢のない公園であってはならないと思う。「石神井文化の杜 公園」としてほしい。</p> <p>私の所に日本銀行グラウンドの跡地に日本伝統文化伝承石神井公園能楽堂というのを作ってくれとアピールに来た人がいた。よくよく聞いたら三井住友グラウンド跡地の所を言っていた。設計図までもらったが、日本銀行跡地の公園をみんなで使えるようにしたい中で、なんで能楽堂だけ先走ると話をした。一体全体どのくらい費用がかかるのかと聞いたところ、最低でも3億円だと言う。冗談ではない。皆が工夫しあっているいろいろな世代の方々が利用するのにふさわしくないで、私は話を聞くだけにした。そういう人たちも出てくる時代なので、名称をまず統一して、旗をあげておいて、旗のもとに皆さんが公園を使えるということにしてほしい。</p>
委員長	<p>品格についてだが、イメージとしては戦前くらいのイメージだろうか。クラブハウスは戦争中のイメージだろうか。あまり新しい雰囲気でないほうがよい事であろう。</p>
副委員長	<p>イメージとしては戦前のゆとりのあった時代だと思う。先程からたびたび出てくるアカマツの木立ちがあり、文化がここに息づいている。そういうものを集合したような形でイメージが共有されれば、あとはあまりぐらつかないように思う。それが、維持できるように細かいデザインを含めて一貫していく。簡単にそれを集約した言葉を言えませんが、先ほどでた文化のもりというのは重要なキーワードだと思うので、それに時代の問題等を加えた形で何か作るとよいと思う。</p>
委員長	<p>イギリス風庭園というのは、アルカディア的庭園という事を言うのだが、要するに理想郷的なものだ。昔からいろんなオペラでも上演されているようなイタリアのアルカディアという所の牧歌的な雰囲気を作っていこうという庭園だ。そういう雰囲気をここ全体として石神井公園地区が出来れば大変よいと思う。アルカディアなんて言わず、石神井公園的・三宝寺的のブランドをつくってもよい。</p> <p>先ほど犬の話がでたが、犬を放さないというのはよいが、昼間、犬はどこ</p>

	かにつないでおけば、連れて入ってよいという事か。
I委員	この公園の中にドッグランをつくるということか。
委員長	それは想定していない。散歩をする人が犬を連れてくる場合に、どこかにつないでおくのか、中まで入れてよいのか。
G委員	運営委員会のようなところで検討することではないのか。
委員長	今日は基本計画なので、運営についてはまた後の検討になる。名称の問題は議会の関係もある。 看板を石神井地区で統一したらどうかと意見があったが、商工観光課長（佐々木課長）の考えを聞きたい。
事務局	品格との関係にもなるが、デザイン的に一定の統一感が必要だと意見があった。もう一点サインという事になると、案内看板等この公園単独では当然統一感を持たせる話になるが、今後の話の中で、先ほどから出ています大きな鳥の目を見た時に回遊性を図るという話の中では、それを含めて統一的にという議論も出てくると思う。石神井公園ふるさと文化館もかなり出来上がってきているという事もあるので、地域の中での連帯感を深めるという意味でも統一的な案内看板について検討していく必要がある。しかし、地主がおり、作って置いてくれるというものでもない。関係の方とも相談しながら、やっていきたい。
委員長	開放の時間が少し気になる。例えば石神井公園を散歩している人は朝早い。そうすると朝早くから開けないといけないし、誰が開けたらよいのだろうという問題がある。地元の方の問題でもある。クラブハウスでコーヒー1杯飲みたいという意見もあるかもしれない。
E委員	朝早くから開放すると近隣の人に怒られてしまう。石神井公園ふるさと文化館と合わせるのでよいのではないか。
委員長	その他感想など何かあったらこの機会にどうぞ。特に基本計画についてはよく出来ているのではないかという意見だが、何か特にあるだろうか。
副委員長	明確に理解できないのだが、クラブハウスの南側近くに入出口開けたらよいのではないかと発言していたのだろうか。
G委員	南側入口というのは松林広場のところだ。それから中に入ってクラブハウスの遊歩道を散策するには花と木立ちの広場から松林の広場へ直接抜けられるようなコースを考えた方がよいのではないかと話したつもりだ。
委員長	練馬らしい先ほどの品格のあるという方針で100年後を考えていったらよい。
B委員	100年の計を考えることを今後の課題にしたらどうか。
委員長	花と木立ちの広場の使い方だが、先ほど水が流れるようにすればホテルもという話もあったが、個人的に花というのはどういう花かなと気になっている。洋バラで安くてきれいなものを入れてしまう事がよくあるが、個人的にはなるべく日本在来の花できれいなものを望んでいる。

D委員	<p>地産地消という問題を進めて欲しい。かなり誤解がある言葉だが、地産地消とは地元産品を愛好するという意味ではない。地元で必要とするものを持ってくるのではなくて、地元で出来ないかという可能性を探そうと言うことだ。もともとは地域住民の栄養を考えた言葉だ。そんな事で、練馬は練馬の名品21の中にも、3分の1は農作物、花が入っている。練馬のなにか魅力を高めて行く、出来れば練馬の地域としての産業活性化に貢献できるような可能性につながるそういう視点が必要である。そのためにもこういう公園だという哲学みたいなものが必要になる。</p>
G委員	<p>今、花の話が出ているが、この検討委員会にふさわしくない。</p> <p>これから先の実行委員会なりで専門部会を作って、それをまとめるのが運営委員会だと思う。専門部会を次の会あたりにつくってはいいのではないかと提案する。</p>
副委員長	<p>花の話も先ほどの共有し始めたイメージに照らし合わせて考えなければいけない。そう考えると、ふるさとであり、自然豊かな場所であるので、恐らく奇抜なものはない。しかも水辺というイメージが少しあるので、水辺の近くにあるものと考え、例えば通常のアジサイではなくて、サワアジサイとか、この地域に本来あって、今は無くなってしまっているようなものをイメージするというのが基本だと思う。</p>
委員長	<p>この際、発言したいという事があったらどうぞ。</p> <p>スポーツ主体の公園だというイメージになるという発言があったが、広々とした所が石神井公園地区にはあるだろうか。水面はもちろん広々としているが、そう意味で芝生というか低茎草原は同時にそれなりの風格があるのではないかという気がしている。芝生ということではない。芝生として維持するのであれば年の半分位は立ち入り禁止になってしまうので、むしろどちらかというと、クローバーが生えてきてもよいような低茎草原だ。明治神宮の絵画館前の広場は芝生でなくて草刈を年中やっているから、芝生のような草っぱらだが、そのイメージでよいか。</p>
事務局	<p>実際、現在も芝がメインだが、刈りこみにも耐えるオオバコみたいなもの、シロツメグサのようなものが実際に入っている。ただ、今は利用の頻度が低いのでそんなに目立たない。今後は逆にある程度みどりの面を維持するには、そういうものをいれていかないと、土埃ばかりになってしまう。</p>
G委員	<p>花と木立ちの広場は体育館とプールを壊した跡地の場所なので、今、検討している花は恐らく影になるからあまり育たないのではないかと。したがって、植林、それも間隔を置いて間に草っぱらになっていた方が、広々と見えるのではないかと。</p>
事務局	<p>今日、委員の皆さんに基本計画はおおまかにはよいのではないかと意見をいただきました。今日の意見を加える形で、デザイン、全体のイメージをもう少し固めたものなるべくまとめた形で次回に提示したい。恐らく植栽管</p>

	<p>理についても、アカマツとか芝生について書いてあるが、その全体のイメージが品位あるみどりは何であるかとなると、委員長も言っていた富士街道側から入った時に直接、運動場が見えるという事ではなくて、列植の並木をよりよく見せる。ここで全ての細かな管理項目を基本計画に盛り込むわけではないが、それにつながるような項目出しを基本計画の中で行うと、今後の維持管理計画を立てる時や、実施設計にきっちり反映できると考えている。整理して、次回、提示したい。</p>
事務局	<p>ここで一つだけ確認したいのが、南側区道に関しては基本的にイメージが固まったと思うが、富士街道沿いも同じようなイメージであると思ってよいだろうか。富士街道も歩道を広げて、公園に来る方々の安全を確保できるように提案いただいたので、そういうイメージを持ちたい。一方西側の住宅街に関しては、同じイメージでも少し作り勝手を変えておいた方がいいだろうか。今までと違って毎日、公園を開園している。夜は閉園するが、今までよりも西側の方々に区立公園として気を遣わなければいけない。場合によってはセットバックを考えながら歩行空間をつくと共に、防音壁みたいなものがなじむかどうかなどの意見を必要であれば皆さんからいただきたい。</p>
G委員	<p>それに加えて、細かく考えるのであればスポーツならばスポーツの委員会、あるいは文化なら文化の委員会というように、そろそろ立ち上げていけば、もう少し色々な検討ができると思う。なんとなく中途半端な結論を出しても仕方がない。今、西側の関係という話もでたが、それも必要だろう。しかし、それだけではなくて、もう少し突っ込んだ話題が出てきた。したがって、文化の方は文化の方で、スポーツの方はスポーツの方で、運動公園だからといって必ずしもスポーツをやらなくてはいけないということはない。スポーツも文化だ。それを認識して、是非この場で次の時には専門部会が出来るように結論を出してほしい。</p>
委員長	<p>一応この委員会は、基本計画の委員会なので、むしろ実施設計に関わる問題を切り離れたほうがよい。</p>
G委員	<p>それは委員長が花の話をしたから、私はそれを受けて提案しただけだ。</p>
副委員長	<p>品格品位の確認をどこでやるかだが、やはり基本方針の所で一言入れる必要があるだろう。管理運営の方針の所でも一言入れる必要がある。それらが最後までずっとイメージしていくような形で展開していかないといけないだろう。</p>
D委員	<p>副委員長の意見に関連する事だが、次回には成案が審議の対象になるので、敢えてここで言うておきたい。基本計画の検討の方向性の部分で、前段は所与の条件を述べているので、別に問題がない。その下にある「以下の視点」という所は、所与の条件に基づいて述べているので、整合性があるのだが、「検討の方向性として整理しました」と記載しているが、表現をもう少し工夫してほしい。表現が少し不揃いだという事と、格調に欠けるからだ。一番</p>

	<p>上は貢献する、こうありたいという価値的な目標を述べているので、これに揃えていったほうがよいのではないか。二番目はスポーツ活動ができる。これは当たり前の事で、そうではないのだ。例えば「多くの区民がさまざまなスポーツ活動に参加できる。参加するような場をつくる事。」というような表現にすべきでないのか。三番目も「文化芸術・観光が楽しめる」という言い方はちょっと不適當ではないか。そうではなくて、「自然と地域の文化に親しむ機会をつくる。環境をつくる」という表現の方がここはよいのではないか。この次までに検討してほしい。</p>
委員長	<p>次回で基本計画の検討を終わる。次の問題を想定しながら基本計画の文言については考えてほしい。</p>

4.事務局から連絡

- ・次回開催について

- 日時：3月29日(月)午後

5.閉会